

(別紙 3)

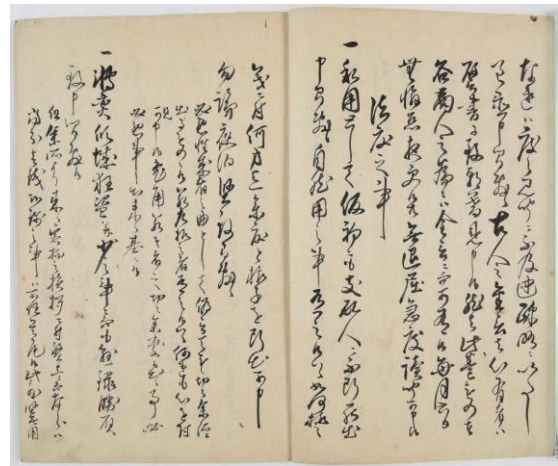
日本遺産構成資産に追加認定された文化財の概要

令和3年7月19日付で行田市の日本遺産ストーリーの構成資産に、下記の2件の文化財が追加認定された。これで日本遺産の構成資産は46件（史跡4、古文書5、建造物30、有形民俗文化財2、無形民俗文化財5）となった。

橋本家文書

行田有数の足袋商店であった橋本喜助商店の足袋に関わる江戸時代後期～昭和戦前期の文書群。行田の足袋商店の発展経過が伺える貴重な資料群と言える。

(店之条目)



小林家住宅

足袋原料問屋の村賀商店が、祖母の隠居住宅として昭和16年(1941)に建設したと伝えられている住宅。当時の足袋商店はしばしば別荘的な住宅を所有したが、その好事例と思われる。建物全てにおいて贅沢な材料を吟味して使用されているなど、当時の生活様式を窺える典型的な和風造りと、生活への憧れが窺える洋館造りが複合された貴重な珍しい住宅と言える。

